



# つじヶ丘だより東京

## つじヶ丘同窓会東京支部会報

【発行】函館西高等学校つじヶ丘同窓会東京支部 【会長】折田 信一  
〒136-0071 東京都江東区亀戸9-10-1-1517 TEL/FAX：03-3638-3523  
メールアドレス：tutujigaoka2022@googlegroups.com  
【制作】斎藤広告企画室 【題字】細見 紀子(14回生)

ホームページURL

<https://td-tokyo.com>



### 今年の総会・懇親会を延期 来年こそ会場で お会いしましょう

会長 折田 信一(18回生)



2020年早々から始まった新型コロナウイルス感染症もようやく収束の兆し

を見せてきました。とはいえ、専門家によれば、感染症を完全制圧した「終息」ではなく、社会状況が落ち着き、ほぼ事態が収まってきた「収束」との見解です。今年になって政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いを2類から季節性インフルエンザと同じ5類に、さらにマスクの自由化、外国人旅行者の入国解禁、国内では飲食や旅行などの行動制限緩和を次々と決め、観光業や飲食業も活況を取り戻しつつあります。しかし安堵していいのかどうか。懸念が消えたわけではありません。

### 5年ぶりの学年幹事会を開催

昨年末から年始にかけて東京では、コロナ第8波が猛威を奮い、1日の新規感染者数が2万人を超える日が続いていました。こうした状況の中で、東京支部事務局として、1月末に予定していた学年幹事会を開くかどうかの議論から始めなければ

なりません。議題の重要案件は、事務局が今年5月14日に計画していた総会・懇親会開催の可否です。急遽、臨時事務局会議を招集して議論を重ねた結果、5年ぶりとなる対面での学年幹事会を1月28日に開くことを決定しました。さらに、出席できない学年幹事の方々のために、事前にアンケート調査を実施して意見の集約を行なうことにしました。

当日の出席者は事務局委員を含めて15名。通常の半数でしたが、8波の渦中とあってはやむを得ません。アンケートも含めた学年幹事総数44名の回答は次の通りです。

- ・開催する 10人(23%)
- ・中止・延期する 26人(59%)
- ・回答なし 8人(18%)

この結果、残念ながら今年の開催は中止、来年以降に延期と決定いたしました。今年1月の時点では、コロナ感染者死亡率の90%以上を65歳以上の高齢者が占めており、「参加者の健康を第一に考慮すること」が、学年幹事会に出席した全員の総意でもありました。

総会・懇親会の延期を踏まえて、「Let's go 同期会」(詳細は下段参照)を今年も実施することにいたしました。2019年の総会以来、4年間の空白があります。しかし、この頃になってようやく日常生活が戻りつつあります。総会延期に代わって補助金を活用し、同期生の皆さんで旧交を温めてもらえれば幸いです。

### 新規会員獲得プロジェクト計画

また、今年度からの新企画として「新規会員獲得プロジェクト2028」を立ち上げました。少子化と高齢化、さらに進学、就職などで上京する卒業生も少なくなっており、会員数が減少しています。提案者の川瀬俊吉君(19回生)が中心になって、会員数の減少に歯止めをかけるアイデアや施策を練っていく計画です。事務局はもとより、学年幹事の皆様にもバックアップをお願いし、プロジェクトを進めていく考えなので協力お願いします。

そして、2024年こそ、5年ぶりとなる総会・懇親会の席上で、笑顔いっぱいの皆様とお会いできることを楽しみにしています。

### 『Let's go同期会』実施のお知らせ

総会・懇親会の延期に代わって、今年も『Let's Go同期会』を実施します。従来、同期会(7名以上)開催補助金は1万円ですが、今年12月末までに同期会を開催した場合、下記の通り補助金を増額します。他期生との合同開催も可、1回生1回限り。この機会にぜひご活用ください。

- ★5名以上…2万円
- ★10名以上…3万円
- ★15名以上…5万円

※申し込みは東京支部ホームページから補助金申請書をダウンロードして記載、同期会の写真を添えて事務局メールまたは郵送でご送付ください。

## 特別寄稿

## 高橋順吉君を悼む

竹澤 秀明(17回生)



東京支部の前副会長であり、かつては事務局長としても活躍した高橋順吉君が突然亡くなった。同期生として30年を超える仲間であった。彼は先輩や同期、後輩からも「順吉、順吉さん」と慕われていた。

彼との出会いは今から34年前、新宿小田急百貨店で開催された「第3回つじヶ丘同窓会東京支部総会」だったと記憶している。高校時代に面識はなかった。当時、新聞には都内で開催される各学校の同窓会案内が掲載されていた。この欄で初めて西高同窓会の開催を知り懐かしさで参加して同期の彼と知り合った。この時の参加者は364名、高女と西高の合併同窓会で大盛況だった。高

女の方々には政財界人のご夫人も多く、また西高先輩にも各分野で活躍中の方々が多く、私には場違いのようないな気がしたものだ。

堀内洋子先輩(14回生)によれば、順吉君は西高同窓会東京支部の立ち上げに貢献した一人であり、第1回からの参加者だという。高校時代は応援団に加入して、ラグビー部や野球部のために大団旗を作って活躍。同窓会での熱気あふれる応援団リーダーをご記憶の方も多いただろう。世話好きで人付き合いがよくビールを好む好漢でもあった。

彼は同期なのに私より1歳年上だった。いつだったか酒の席で何故同期なのかを聞いた。最初は他校に入学したがどうしても西高に行きたくて中退。1年間勉強を頑張つて西高に合格した。西高に入ることができて良かったと打ち明けてくれた。この頑張りが彼の真骨頂である。



▲懇親会では、応援歌とパフォーマンスで会を盛り上げるのが恒例だった。

短大卒業後は大手建設会社に入社した。現場での仕事が多く、現場監督として仕事仲間とビールを飲みながら大いにコミュニケーションを取っていた。応援団長の気質が抜けず、職場のラグビー部の応援のため、退職後も各地の遠征に同行していた。こうした人柄がみんなに愛されて、同期会や同窓会への参加者も徐々に増えて、いつのまにか15、16名が固定している。同期会は毎年1、2回、函館や他都市からの参加者を交えた旅行会も行なっており、そんな時の彼は心から楽しんでいった。

ある時、「結婚した」と報告があった。40過ぎての結婚を言いそびれたとかで、だいぶ年下の奥さんだった。独身時代の年賀状は飼犬の写真ばかり、結婚後は子供の写真に代わりやがて孫になった。これも世の常。同期の刀鍛冶である松田周二君(松田次泰刀匠)の後援会の世話人も彼のフィールドワークだった。

若い奥さんを癌で早くに亡くした。遅い結婚だったが子宝にも恵まれ人生を謳歌していただけに、大変な落ち込みようだった。同期会で会っても以前の彼ではなく、皆の励ましに励めるのに1年かかった。退職後は息子さん一家が近くに居たとはいえ同居住まいで、賑やかなのが好きだった彼にとつては寂しかったのかも知れない。親しい同期の仲間「朝からビールを飲んでいるらしい」と聞いたこともあったが、退職後の世の男に見られがちな行動でも



▲2019年5月開催の総会・懇親会で17回生の仲間たちと。前列中央が高橋順吉さん、その右隣座っているのが竹澤秀明さん。

あるだろう。

昨年突然、応援団の後輩だった川瀬俊吉君(19回生)から彼が亡くなったらしいと連絡が入った。彼と親しかった佐藤俊一君(同期)に確認したが分ならず、息子さんに連絡を取ってもらい、7月末に逝去したと分かった。ご子息の話では父親の家を訪ねたら、すでに死去していたという。検視の結果、「心筋梗塞」で2日前に死去していたことが判明した。近くに住んでいても一人住まいならではの出来事で、後期高齢者の私にとつても他人事ではない。

酔っぱらってひっくり返り、大声ではしゃぐ彼の姿を思い出す。コロナ禍でしばらく会えなかった同期の仲間は、彼が居るかのような賑やかなお別れの会を開き、心よりご冥福を祈り、彼の逝去を惜しんだ。

合掌

回生だより  
**レッツゴー同期会**  
**開催報告**

**24回生**

新年早々の1月某日、新宿寿司銀座で第〇回目の同期会を開催しました。(さく、何回目でしょうかね?) 昨年5月に第19回総会・懇親会が開催されるはずでしたが、コロナ禍のため延期となってしまいました。そこで、我々24回生メンバーは連絡を取り合い、遠く茨城県や神奈川県、埼玉県所沢方面、都内在住の2人、合わせて5人でワイワイやりました。この2年間、コロナで大抵のイベントは中止になり、どこへも出かけられず、うつぶんが溜まりすぎていたのでなまら話が弾みました。一人ひとりの近況報告に始まり、

相変わらずの昔話、誰かの武勇伝とか、何処にどうゆう店があったとか、出てくる、出てくる。しかし、同期の面々の現在の写真を見ても誰が誰だかわかりません。まあ、何といっても60代後半にさしかかると、そろそろ健康・年金・孫の話が始めます。と言うか、気になってきます(年寄りの三題話)。

あつという間に時間は過ぎました。次はいつ開催しようかという話になり、2024年は卒業50周年の節目を迎えるので、その時は大々的にやろうという約束をし、それを楽しみにしてお開きとなりました。

最後に函館にGターニングして現在病氣療養中の仲間のために、皆で元気な姿を写真に収め、励ましのメッセージを送りました。  
 (22・3・1 京極信良)

**17回生**

11月20日(日)椿山荘近くの中国料理店で、13名が参加して3年ぶりの同期会を開催しました。コロナ感染拡大が危惧されましたが、第8波の入口での開催を強行しました。というのも、7月に亡くなった高橋順吉君の追悼の会を兼ねていたからです。順吉君への黙祷と献杯で始まり、全員元気に楽しい時間を過ごすことができました。

私が持参した昔の同期会の写真を見ながら「あの頃はこうだった、あであった」と、後期高齢者を目前に

**17**



この時ばかりは過去に戻る時間を過ごすことができたいと思います。

今回は、順吉君との応援団つながりで折田会長(18回生)、川瀬君(19回生)、水上さん(18回生)も参加して、彼の早い逝去を惜しみました。来年は総会を5月に実施できるようお願い、もし万一できなかつた場合でも同期会だけは開催しよう、場所と日にちを約束して散会しました。  
 (22・11・23 竹澤秀明)

**32回生**

皆さま、お元気で過ごしてでしょうか? 2022年11月26日(土)17時半から。私たち32回生は1年ぶりの同期会で、ピヤホール銀座ライオン 某店個室に集まりました。32回生6名と折田会長も参加して計7名です。

お声かけをしてからトントン拍子に人が集まり、嬉しかったですね。残念ながら仕事の都合で間際に欠席になってしまった方もおりました。会場探しは、お得意の長谷川学年幹事長が率先して行ないました。ひとり、ふたりと久しぶりの仲間にお会いできて、お互い積もる話に花が咲きました。

ご家族のこと、同期生の近況、お仕事の話等々、次から次へとおしゃべりが尽きません。来年、私たちは「還暦を迎えます。還暦祝いの会をぜひ開きたいものです。また、12月には、佐藤泰志作品の映画「夜、鳥たちが啼く」が公開されるので楽しみにしています。二次会は、懐かしい北海道の味の居酒屋でした。楽しく和やかな会となり、また会える日が待ち遠しいです。  
 (22・11・29 本間雅子)

**32**



**24**



同窓生の広場

おじさんぶらり一人旅⑥

## 初の三陸へ

野口 卓史  
(27回生)

今回のどこかにマイル<sup>®</sup>(※)は三沢空港行き。空港でレンタカーを借りて9時半頃に出発、太平洋沿いを宮古まで南下しながらドライブ。移動時間がイマイチ読めないのが、初日の観光は「龍泉洞」に決め、早めに宮古のホテルにチェックインしてゆっくりする計画です。

洞窟探検は沖縄の「玉泉洞」以来で、日本三大鍾乳洞のひとつにも数えられる龍泉洞とあって期待は高まります。かなり奥まで進むことはできたのですが、イマイチ暗くて洞窟の中がよく見えず、「玉泉洞」のようなキレイなブルーの幻想的な風景もなくがっかり。階段の登り降りが合わせて270段ほどあり、結構キツイ行程でした。

宮古に到着後、チェックインまで時間があったので宮古を代表する景勝地「浄土ヶ浜」へ。火山岩から作られた白い岩と青い海のコントラストが美しい入り江でしたが、駐車場から結構遠く、風が冷たく、冬場の観光向きではありませんでした。

三陸グルメを堪能!?

ホテルは休暇村陸中宮古。人工泉ですがラヂウム温泉に浸かりグータラしているうちに晩ご飯の時間。同じ休暇村、指宿のご飯がかなり良かった記憶があるので期待していたのですが、いたって普通。ただ自分で具を選ぶ釜飯は旨かった。朝食の新名物「瓶ドン」は牛乳瓶に詰め込んだ具材を自分でご飯にぶっかけて食べる海鮮丼。具に雲丹とイクラが入っていたのでまあまあでしたが、私としては好きな刺身とイクラかけ放題のほうがよかったかな。

帰りは北上。まず三陸のダイナミックな断崖が連なる海岸美を眺望できる北山崎展望台へ。海に降りることもできるので、階段が千段近くありそうで、途中の展望台でやめたものの500段近くもあって、もうへ口へ口でしたわ。



▲断崖が連なる海岸美を眺望できる北山崎展望台

次に、久慈の「もぐらんぴあ」水族館へ。ここは日本で唯一の地下水族館。海岸にあるため3・11でかなりの被害を受けたのですが、生き残ったカメの一匹は元気に水槽を泳いでいました。すぐそばに国の地下石油備蓄基地がありました。地下岩盤内

に掘った空洞は、水と油は混じり合わないのに浸出する地下水が壁となり、水をコントロールすれば非常に良い石油タンクとなるそうです。耐久性もあり、今では久慈を含めて日本に3ヶ所の地下石油備蓄基地があるとか。勉強になりました。

12時を過ぎたので昼ご飯の店を探しながらの運転で、1時間ほど走ってやっとありつきました。八戸の手前で磯料理の旗に誘われて入ったドライブインで、雲丹あわび卵とじ重を注文。あわびは小さいけれど二切れでしたが、雲丹はそこそこ入っていて磯の香りを味わいました。

## 縄文遺跡、航空科学館も見学

昼食後は八戸の是川縄文館へ。ここでは国宝「合掌土偶」を鑑賞。北海道・東北縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されましたが、是川も三大丸山も遺跡の整備や復元に力を入れており、青森は頑張っていますね。

さらにレンタカーの返却まで1時間ぐらいあったので、空港近くの三沢航空科学館へ。ここは2回目ですが、飛行機プラモデルコレクションの展示はなかなか見応えがあり、飛行機ファンにはこたえられません。

レンタカー返却後、空港のレストランで晩ご飯。ビールに枝豆、メにバラ焼きセット。今回の旅では青森・三陸のグルメがまあまあ興味できました。走距離400km弱、旧型フィットメーターの表示は燃費



▲合掌土偶

平均19.5km/Lでしたが、実質17.5km/Lぐらいでした。3・11の傷跡をほとんど目にするものがありませんでしたが、震災遺構の壊れた防波堤や津波の浸水位置を示した標識はかなりの頻度で立っています。さほど海に近くない地域や高台もあったので、どれほど大きな津波だったのかと改めて思いを巡らせました。まだ行方不明の人もいますし、ご冥福を祈りつつ、三陸の旅を終えました。

(※)国内線往復航空券が通常の半分以下のマイル数で交換できるJALマイルレジャーサービス。

●「おじさんぶらり一人旅高松編」をホームページに掲載しています。



▲5200万年前にできた火山岩が林立する浄土ヶ浜

# 五稜郭の魅力再発見 函館屋と函館氷



上平 明  
(18回生)

## 箱館戦争と銀座「函館屋」

五稜郭は国の特別史跡に指定され、城ではないが日本百名城の一つにも数えられている。また、民放テレビ局が実施した「お城総選挙」で堂々の8位(1位姫路城、2位大阪城、3位松本城)に入り、四季を通じて大勢の観光客で賑わう。特に春の桜の時は人気で、五稜郭タワーに上るエレベーターが1時間待ちになるほどだ。

そのような五稜郭だが、数々の歴史的秘話や五稜郭を舞台とした逸話が伝えられている。私が7年前に入会したボランティアアガイドグループ「縁ジョイ倶楽部」では、観光パンフレットに載っていない逸話やこぼれ話を、五稜郭を訪れる皆様に紹介しながら楽しく公園を案内している。その逸話のひとつを紹介したい。



▲函館氷の広告  
(函館市中央図書館蔵)

万延2(1861)年、愛知県三河出身の中川嘉兵衛は、医療や食肉保存で需要が高まっていた氷作りに挑戦を開始した。当時、氷ははるばる米国ボストンから

## 五稜郭で生産された「函館氷」

明治9年、現在の東京銀座6丁目「函館屋」という氷水とアイスクリームで大人気となる氷屋が開業した。函館屋の主人は旧尾張藩の信(しん)大蔵であった。彼は箱館五稜郭で旧幕府軍榎本武揚の下で戦い負傷したが、なんとか官軍の残党狩りを逃れ、その後上京して「函館屋」を開業した。アイスクリームの作り方は、ともに五稜郭で戦った旧フランス軍軍事顧問団の士官から教わり、開業資金は旧幕府軍のリーダーであった榎本武揚から借りた。

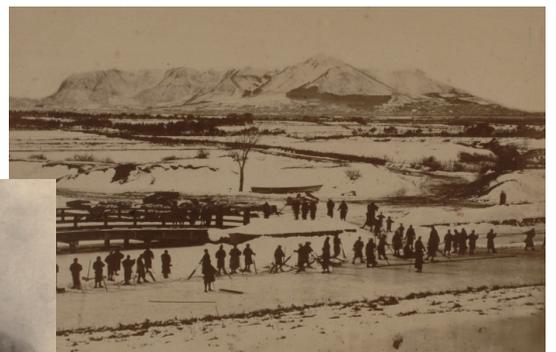
半年かけて輸入され、大変高価なものだった。そこで彼は国産化を目指し、最初に富士山麓で挑戦したが失敗。その後も各地で挑戦するも失敗の連続だった。

明治2(1869)年、富士山での挑戦から数えて7回目、ようやく五稜郭に辿り着いて天然氷の生産に成功した。函館での成功は、居留していた英国人ブラキストンの紹介で、天然氷作りの技術を身につけた英国人ジョージ・ビュイック(豊川町で造船業と食肉販売業を商っていた)を雇ったこと。さらに、五稜郭は港まで3〜4kmと近く、港に氷室庫を建設して氷を保管し、速力の早い外国船で京浜地区まで短時間で氷を大量に輸送することができたからである。当時の函館は、安政2(1855)年の開港で港灣が整備され、毎年100隻前後の外国船が入港していた。

五稜郭で生産された天然氷は「函



▲五稜郭伐氷図(函館市中央図書館蔵)



◀函館氷の生産に成功した中川嘉兵衛



館氷」「五稜郭氷」「竜紋氷」などと呼ばれて大変な人気で、明治7、8年頃には日本中に「函館氷」の名前がかき氷ブームが起きる。ピーク時に函館氷は年間3800トンも生産され、日本国内のみならず東南アジアまで輸出された。それは機械氷が普及する昭和の初め頃まで続いた。

庶民は函館氷のおかげで初めてかき氷やアイスクリームを味わうことができたのである。なお、中川が創った横浜氷会社は、現在の株式会社ニチレイである。

●上平明さん執筆「五稜郭の魅力再発見」は、ホームページ会員だよりに他4編が掲載されています。



●**放送局**  
 「NHK杯全国高校放送コンテスト」テレビドキュメント部門「コロナと共に生きていく」制作奨励賞  
 制作ラジオドラマ部門「青を待つ」制作奨励賞

●**書道部**  
 「高野山競書大会」  
 ●**全国高等学校選抜スポーツクラ イミング選手権大会**出場  
 男子リード予選 斎藤鈴太さん

★**全国大会に出場しました!**  
 ●**放送局**  
 「NHK杯全国高校放送コンテスト」テレビドキュメント部門「コロナと共に生きていく」制作奨励賞  
 制作ラジオドラマ部門「青を待つ」制作奨励賞

# 母校だより

●**文芸部**  
 昨年、全道高校文芸作品コンクール文芸誌部門で最優秀金賞受賞。今年、全国高校総合文化祭出場予定。  
 ●**日本高等学校水泳競技大会**出場  
 女子50m自由形、女子100m自由形 吉田琴音さん  
 ●**全国高等学校選抜スポーツクラ イミング選手権大会**出場  
 男子リード予選 斎藤鈴太さん



●**協会賞/日隈ひなたさん**  
 特選/館坂里菜さん 阿部光玖さん  
 「高校生国際美術展」  
 佳作/佐藤萌菜さん  
 「全国高等学校総合文化祭国際高校生選抜書展」特別賞 阿部光玖さん

一度、大阪、神戸、京都と会場を変えて開くことにしていて、今回は24年11月神戸で開催の予定。  
 ②1980(昭和55)年。前身の立高女同窓会大阪支部は1936(昭和11)年に設立されている。  
 ③きちんとした会員名簿があるわけではなく、50名余りではないか。  
 ④年1回70部程度。22年10月10日に会報22号を発行。  
 ⑤会長、副会長、会計、会報編集担当を、総会の際などに互選で選出。事務局は会長宅に置いてある。  
 ⑥年会費などは徴収していない。総会・懇親会の開催時に、そのつど出席者が費用を分担している。  
 ⑦会員の高齢化(病気や逝去)によって、総会の参加者が減少しており、関西支部の存続のためにも若い世代の獲得が最優先課題である。(中谷基会長 20回生)

## 令和4年度(2022)卒業生 主な進学先

国立大学			
北海道教育大学(函館校)	4	室蘭工業大学	1
北海道教育大学(釧路校)	1	弘前大学	2
北海道教育大学(旭川校)	1	山形大学	1
北見工業大学	2	岩手大学	1(1)
		金沢大学	1(1)

公立大学	
公立はこだて未来大学	3
釧路公立大学	1
名寄市立大学	1
宮城大学	1

文科省管轄外の大学校	
防衛大学校	1
北海道職業能力開発大学校	1

私立大学(道内)			
函館大学	3	札幌保健医療大学	2
北海学園大学	12(1)	札幌学院大学	8
北星学園大学	7	札幌国際大学	2
藤女子大学	1	札幌大学	1
北海道科学大学	6	東海大学(札幌キャンパス)	1
北海道医療大学	7(2)	北海道文教大学	2
日本医療大学	4	北海道情報大学	8
北翔大学	6	星槎道都大学	1
北海商科大学	2	日本赤十字北海道看護大学	1

私立大学(道外)			
青森大学	1	明治大学	1(1)
弘前学院大学	1	日本大学	2(1)
弘前医療福祉大学	1	専修大学	2
八戸工業大学	1	國學院大学	1(1)
東北学院大学	2	桜美林大学	5
東北福祉大学	2	関東学院大学	1
日本赤十字秋田看護大学	1	東京工科大学	1
尚綱学院大学	1	大阪国際大学	1
千葉工業大学	1	安田女子大学	1(1)
湘南鎌倉医療大学	1	立命館アジア太平洋大学	1(1)

【令和4年度卒業生の進路状況】  
 進学89.0% (大学39.3%、専門学校・予備校等49.7%)、就職8.0% (公務員4.2%、民間企業3.8%)、未定3.0%

## 同窓会交流報告

## 3年ぶりの関西支部総会に出席

2022年11月下旬、紅葉の京都・鴨川四条大橋河畔の老舗「東華菜館」で3年振りに関西支部総会・懇親会が開かれました。

本部からは工藤恵美副会長、東京支部からは私と川瀬俊吉氏が参加して総勢11名。2019年に中谷基(20回生)氏が会長を引き受けてから、ようやく總會を開くことができました、との喜びを滲ませた挨拶からスタート。少人数だっただけに全員が近況報告や若かりし頃の思い出を



語ることができ、アットホームで和やかな会となりました。

会の最後には、川瀬応援団長が総指揮をとって応援歌No.2を熱唱。久しぶりに同窓会の楽しさ懐かしさに浸ったひとときでした。

(折田 信一 18回生)

## 事務局活動報告

事務局長 高田 禎哉(32回生)

(2022年4月～2023年4月)

## 本部・他支部及び

## 在京他高校同窓会との交流

・函館本部、札幌支部はコロナ禍のため同窓会総会は中止に。  
・関西支部、11月27日(日)3年ぶりに総会を開催。折田会長出席  
・東京臥牛会(在京高校同窓会連絡会)は3月4日(土)銀座にて開催。

佐藤副会長出席

・他校同窓会(東、函商、函工、ラサール)はコロナ禍で中止に。中部はZOOMで開催。

## 学年幹事会

1月28日(土)大雪による交通混乱やコロナ禍によって書面開催が続いていたが5年ぶりに対面開催。第19回総会・懇親会の開催の可否、新事務局長高田禎哉就任、新規会員獲得プロジェクトの提案などについて話し合う。出席者15名。

## 事務局会議

・4月22日(土)会報26号、年会費納入書、挨拶文の封入と発送業務  
・10月15日(土)来年5月総会・懇親会の開催について、元事務局長高橋順吉氏逝去の報告、新規会員獲得プロジェクトの実施などを審議。  
・1月25日(水)学年幹事会開催について、学年幹事向けアンケート調査の実施などについて話し合い。

## 新役員の承認(学年幹事会に於いて)

事務局長 高田 禎哉(32回生)

## ■おくやみ

22年3月～23年4月までに事務局に連絡のあった逝去された会員です。謹んでご冥福をお祈りします。

根村照子(高女35)、岡玲子(高女38)、荒川美恵子(女子1)、野村修治(1)、若林岑生(2)、外村弘臣(4)、大森哲秀(5)、中村悦子(8)、藤井弘子(9)、松本信男(10)、岡部幸昭(13)、森越勝(13)、高橋順吉(17)、平岡みゆき(20)、福田康典(24)

## 年会費納入のお願い

2022年度の年会費納入数は369件。前年より26件減少していますが、会員数も減少しているため納入率26%は昨年とほぼ同数となっています。しかし、コロナ禍以前には平均500件の納入数がありました。また、年々、少子化や高齢化、上京卒業生の減少によって会員数も減っています。

同窓会活動では、会報の発行、ホームページの運営、総会・懇親会の開催、他校同窓会との交流などを実施しており、その経費は皆様の年会費でまかなわれています。同窓生の皆様、同窓会活動を支える年会費の納入に、どうぞご協力のほどお願い申し上げます。

## 《編集後記》

今春、統合後2回目の卒業生が単立ち、新しい校章を追加しました。今号の「本部支部通信」では知っているようで知らない各会の現状を取り上げました。特に、卒業時に全員が同窓会入会金を納入していること知り、若い世代の同窓会活動への参加を期待したいと思います。

井田 幸子(20回生)

皆さまの投稿(思い出、出来事、旅行など)をおまちしています。

## [2022年度 つじヶ丘同窓会東京支部 会計報告]

2022年 1月 1日  
至 2022年 12月 31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰入金	3,121,398		
年会費(振込) 356件	713,000	同期会補助金	90,000
年会費(現金) 13件	26,000	交流費	15,000
本部補助金	30,000	旅費交通費	40,000
寄付金	6,000	会議費	22,405
預金利子	23	通信費	236,466
		事務費	14,890
		会報関連費	183,403
		印刷費	71,170
		事務局費	120,000
		HP関連費	37,508
		年会費振込手数料	7,590
収入計	775,023	支出計	838,432
		次期繰越金	3,057,989
合計	3,896,421	合計	3,896,421

## [繰越金内訳]

前日本郵政	2,987,535
現金	70,454
合計	3,057,989

以上会計事項について監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

2023年 1月12日

会計監査 14回生 堀内 洋子